広報おおの

的を目指して一直線（スポーツ少年大会・人間カーリング）

ページ
特集・教育が変わる…… 2～5
「ミルク工房奥越前」完成…… 6
市町村合併……7
市民のページ……10～11
話題の広場……12～13
お知らせ……14～15

URL http://www.mitene.or.jp/~ono/
E-MAIL yamabiko@city.ono.fukui.jp

平成14年(2002年)
3月号
No.678
古紙配合率100%再生紙を使用しています

特集

教育が変わる

完全学校週五日制の導入や新しい学習指導要領の実施など、平成十四年度から小学校・中学校が大きく変わろうとしています。今回、保護者・教師・スポーツ少年団指導者・教育長を交えた座談会を開き、それぞれの立場から思うことを語っていただきました。その内容を紹介します。

大いに語る出席者

司会　本日は、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。早速ですが、四月から始まる完全学校週五日制や新学習指導要領についてどのように思われますか。

広瀬　今、マスコミで「新しい教育制度が始まると子どもたちの学力が落ちるのでは」ということがよく言われています。このような情報から、不安を感じている親がとても多いのではないでしょうか。また土曜日が休みになるから「子どもに何かしてあげなくては」と、変にプレッシャーを感じている人も多いように思いますね。

猪島　私の職場では「土曜が休みになると大変だ」という意見がほとんどですね。共働きの場合、家を空けている時間に子どもの面倒を見てくれるおじいさんやおばあさんがいないと、なかなか難しいと思いますね。

スポーツ少年団の指導者（以後「指導者」）　スポーツ少年団の場合だと、休みになった土曜日に練習試合が入るようになると思います。そうなると、どのスポ少でも練習過多の傾向が出てくるかもしれませんね。

下口　今、学校では教師が四月に向けて、いろいろな勉強をしています。私はその中でマスコミで騒がれているほど大きく変わるという感じは受けません。確かに「時間割が変わる」「土曜日が休みになる」など、学校の外から見た印象は、大きく変わると思いますね。

広瀬　ＰＴＡの会合で学校から「今回の改訂は基礎・基本の学力や考える力をしっかりと身に付けるためのもので、その教育制度の改革に向け、学校も一生懸命に取り組んでいる」と説明を受けました。

学習指導要領が新しく

学習指導要領とは、全国どこにいても一定の教育水準の、教育を受けられるようにするため、学校が教育活動を編成する基準として文部科学省が定めたものです。新しい学習指導要領は、平成14年度から実施される完全学校週五日制のもと、ゆとりの中で一人一人の子どもたちに「生きる力」を育成することを基本的なねらいとして改訂されました。

＜改訂の４つのねらい＞

- 豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成します。
- 自ら学び、自ら考える力を育成します。
- ゆとりのある教育活動を展開する中で、基礎・基本の確実な定着を図り、個性を生かす教育を充実します。
- 各学校が創意工夫を生かして特色ある教育、特色ある学校づくりを進めます。

教育長を囲み

保護者がわが子の通っている学校のことをよく知らないでマスコミの情報だけで不安にかられていることの方が問題ではないでしょうか。学校がどうなるのか、ということにもっと関心を持つ必要があると思います。これまで子どもの教育を学校任せにしてきた部分が多かったのかも知れませんね。今回のことが教育について考えるよいきっかけになると思いますよ。

下口　週五日制の導入により家庭で教育する時間が長くなります。これはある意味、学校が大きく担ってきた教育が家庭に戻ることだと言えるのではないでしょうか。私自身も親として、これまで以上に子どもの教育ということについて、責任を持つ必要があるなと思っています。

遊べない子どもたち

指導者　先日、子どもたちが昔と比べてずいぶん変わったなと思うことがありました。団員に「今日は普段のような練習はしないから、好きに体を動かしていいよ」と言ったのですが、何をしていいのか分からないといった様子でしたね。今の子たちは「自分たちで遊ぶ」ことができないのかなと思いましたね。

広瀬　今の世の中、何から何までそろい過ぎているのだと思いますね。子どもが自分から考えて行動する必要が、昔と比べると少なくなったように思います。

指導者　子どももそうですが、保護者も変わったと思いますね「自分の子どもが一番かわいい、ほかの子はどうでもいい」という人が多い気がします。極端な例では、試合の応援に来ていた親から「なぜウチの子よりも小さい学年の子が試合に出ているのか」と言われたことがありますよ。勝負のかかった試合に実力のある選手を出すのは監督として当然だと思うのですが、親からすると、なぜウチの子は試合に出られないのか、ということになるようですね。

広瀬　スポーツ少年団の指導者を子どもの目の前で、平気で批判する親もいますね。これは普段、指導者から子どもが教わっていることをくつがえすような行動だと思うのですが…ある会合で「子どもの教育をどうこう言う前に、親の方をやり直せ」と言われたお年寄りがいました。確かに今、親同士でたしなめ合うということが出来なくなっていると思います。保護者自身がまず自分を見直す必要があるかもしれませんね。

しかれる大人になろう

指導者　最近新聞で「よその子をしかれる大人になろう」という記事を見かけました。でもこれは、私たちの幼いころに当たり前のように行われていたことだと思うんです。私も小さいころよく悪さをして、隣近所のおばちゃんから怒られました。でもそのおかげで、やっていいことと悪いことを覚えたと思いますね。

猪島　文子さん（陽明町三）
小学校に通う子ども持つ母親。２人の子どもがいる

下口真砂代さん（国時町）
中学校で数学を教える先生。自らも２人の母親

広瀬　盛仁さん（佐開）
中学校に通う子どもを持つ父親。３人の子どもがいる

※スポーツ少年団の指導者は、本人の希望により名前と写真を掲載しませんでした

猪島　私も小さいころ、子ども同士で遊んでいると近所のおじちゃん、おばちゃんからよく声を掛けられました。最近は、子どもに声を掛ける大人も少なくなったのではないでしょうか。

教育長　以前は親子関係がしっかりしていたから、地域の連携もしっかり取れていたのだと思います。個人部屋など生活スタイルの西洋化が、事情を変えてしまったのではないでしょうか。西洋の場合、寝る部屋はバラバラでも家族が一緒に過ごす時間を持つ努力を続けてきましたが、日本では、部屋がバラバラになったことで家族のコミュニケーションが減ってしまった。それが地域の連携にまで影響してきたのだと思います。その地域のコミュニケーションを少しでも取り戻そうと今進めているのが「地域のおじちゃんおばちゃん運動」です。これは大野に約九千人いる子どもたちを、約三万人の大人みんなで育てようという発想です。地域に住む人には、何らかの形で地域の子育てに関わる必要があると思いますね。

広瀬　そういえば自分も子どものころ、親の言うことは聞かないけれど、友達の親や近所のおじちゃんおばちゃんの言うことは結構聞いていたような気がします。今の子にもそのような大人の存在が必要なのかもしれませんね。

教科書が薄くなる？

司会　新しい学習指導要領では、授業時数が二割減り、教科書の内容が三割減ると言われていますが、これはどういうことなのでしょうか。

下口　数学では、週四時間の授業時数が週三時間になり、教科書の内容も、これまでより厳選されたものへと変わります。これは子どもたちが受験のために詰め込んでいた勉強が、学力としてきちんと身に付く勉強へと変わることだと思います。新旧の教科書を比べても、内容が薄くなった印象はありませんし、むしろ子どもたちが、自ら学び考える力を育てられる内容へと変わると思いますね。

広瀬　子ども自らが選択するチャンス、興味を持って学ぶチャンスが増えるのは良いこと。学力が落ちると騒いでいる人は、受験に向けた知識のことを心配しているのではないでしょうか。でも、今の詰めこみ教育で育った大学生などを見ていると、本当に必要なのは、自分で考えることのできる力だと思いますね。

指導者　先日「宿題の量が増える」という記事を新聞で見かけましたが、これは学校の授業が減ってできない分を、家でやってくださいということでしょうか。

教育長　それは違います。新しい学習指導要領は、知識詰めこみ型の教育が考えることの出来ない子どもたちを作ってきたことを反省し、自らが考える力を身に付けることに重点を置いたものです。そのためにまず、基礎・基本の学力をきちんと身に付けることが重要で、その学力を身に付けるために必要であれば宿題や補習を行いますよ、というのが今回の新聞記事につながったのだと思います。今、教育委員会では目指す学力を「基礎力のしっかりした確かな学力」とし、各学校には、読み・書き・計算を中心とした基礎・基本の確実な定着をお願いしています。

総合の時間

教育長　それと教育が変わると言われている大きなポイントとなるのが「総合」という時間です。これは従来の教育に欠けていた「考える力」を養うため、体験や経験などを通していろんなことを学ぼうというものです。この総合という授業には教科書がありません。このようなことが「学力を低下させて、さらに子どもが遊ぶ時間を作るのか」という誤った認識につながっているのだと思います。

広瀬　私は総合という授業に賛成です。子どもたちに「世の中にはこんな世界があったのか」「こんな考え方があったのか」と、大いに感動や力ルチャーショックを受けてもらいたいと思いますね。またこの授業で、私たち保護者や地域が学校と一緒になって子どもたちに何かを教えることができるようになるのではないでしょうか。知識という学問に加え、人の成長に本当に必要な何かを学ぶ時間になることを期待しています。

猪島　私は総合が家庭という小さい枠の中で経験できない

ようなことを学ぶ時間になればと思います。例えば何人かで在宅老人の家を訪問し、いろんな話を聞いてくることなどは、お年寄りのいない家庭では経験できないと思うんです。このような経験を重ねることで、人に対する優しい気持ちなどを学ぶことができるのではないでしょうか。そのようなことを教えてくれる時間になればと思いますね。

下口　でも、総合はノートが埋まる、プリントがたまる授業では無いから、子どもたちが「何を学んでいるのか」ということが親の目から見て分かりにくいと思うんです。この時間は、いわば子どもたちが回り道しながら前に進んでいく授業です。そのことを理解して欲しいと思いますね。

広瀬　今回の教育改革が「絶対成功する」とは、だれも言いきれないと思います。でもやらないよりはやったほうが良いと思うし、まして今は、その必要がある時代だと思います。だから保護者の間では「総合の時間について正しい知識を持たずに、学校を批判したり先生を批判したりすることだけは止めようね」と話し合いましたね。

暖かい何かを子どもへ

下口　私は総合の授業で、子どもたちにまず「感動」を伝えたいと思っています。総合については色いろなことが言われていますが、私は熱いハートや感性、感動を知ってもらえるような授業にしたいと考えています。これは確かに「道徳」の授業でも可能なことだったかも知れません。でも、子どもたちの自主性を尊重し、いろいろな可能性を伸ばすことができるのが「総合」だと思います。大変な授業かもしれませんが、教師としてやり甲斐のある内容になると思います。子どもたちが人と人との触れ合いなどを通して何か暖かいものを感じてくれたらうれしいですね。

広瀬　地域には「子どもたちに何かを伝えたい」という気持ちを持つ人がたくさんいます。保護者の間でも「あの人にこんなことを教えてもらったら面白い」「あの人ならこんなことができる」と、アイデアが尽きることはありませんね。このような人と人とのつながりが、地域の枠を超えてどんどん広がると、大野をもっと面白く、一歩も二歩も前に進める原動力につながるのだと思います。このようなネットワークに、地域や学校ばかりではなく、企業や行政にも、ぜひ参加して欲しいと思いますね。

これからの教育

教育長　子どもたちが年間三百六十五日のうち二〇〇日を学校で、残りの百六十五日を地域や家庭で過ごすようになると、学校・家庭・社会、それぞれにやるべきことが出てくると思いますね。教育委員会としても「大野っ子サタデープラン」や「みんなでスポーツ」など、子どもたちが土日に参加できるような内容を考えています。

猪島　職場に子どもを連れて行き、親の働く姿を見せる機会なども出てくるかもしれませんね。社会全体の教育に対する理解を深めていくには、まず私たち大人が動く必要があると思います。

広瀬　そうですね、地域の人材によるネットワーク作りに加え、社会全体の意識改革も重要だと思いますね。

指導者　私は、これからの教育が、子どもたちが自ら考えて動く力「考動力」を育てる教育になればと思いますね。

下口　これから学校の存在がだんだん変わっていくような気がします。家庭や地域、企業や行政など、いろんな要素が子どもたちを中心にネットワークを作って学校に集まるようになるのではないでしょうか。ひょっとすると学校は将来「合校」と呼ばれるようになるかもしれませんね。

教育長　教育が変わることで世の中も変わると思います。今は地方が創意工夫し、その地方らしいものを作る時代です。みんなが協力して、大野らしい、すばらしい教育を作っていきたいですね。

司会　皆さん、本日はどうもありがとうございました。

乳製品の加工体験など

「ミルク工房奥越前」完成

南六呂師に乳製品加工体験等施設「ミルク工房奥越前」が完成しました。

この施設は、県の公社営畜産基地建設事業で整備され、事業費は約三億六千万円。木造一部二階建てで、延べ床面積は約七七〇平方㍍です。乳製品の加工体験室や展示試食室を備え、アイスクリームやヨーグルト作りなどを体験することができます。施設の管理は市が行います。

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 毎週月曜日（月曜日が国民の祝日の場合、その翌日）

その他 加工体験は午前10時～午後4時です。事前に予約が必要で、料金は1回につき300円（原材料費別）です。

問い合わせ先 ミルク工房奥越前（☎67・1166）

乳製品の加工体験室

新設の特定優良賃貸住宅 入居者募集

このほど完成した「西二番町家住宅」の入居者を、市内外問わず広く募集します。

建築物件概要

所在地 明倫町4番23号

構造 RC造3階建

募集戸数 10戸

応募資格

・同居の親族を有するもの

・世帯全体の所得月額が、原則20万円以上32万2千円以下であること

・世帯全体で市税などの滞納がないこと

申し込み方法 市役所都市整備課で配布する用紙にて

申込締切日 3月12日㈫

申し込み・問い合わせ先 都市整備課住宅緑地係（☎66・1111内線352）

内覧会のお知らせ

日程 3月3日㈰～5日㈫・9日㈯～10日㈰

時間 午前10時～午後3時

間取り（タイプ）	2LDK	3LDK
入居者負担額（円／月）	50,100～65,000	69,600～80,000
募集戸数	8戸	2戸
設備	エレベーター・システムキッチン・ベランダ・サンルーム・ロッカールーム各戸エアコン1台、BS完備	
その他	敷金：3カ月分　共益費：4,000円／月　屋内駐車場：8,000円／月　屋外駐車場：4,000円／月　水道費：実費	

私たちのまちと市町村合併

現在、全国で市町村のあり方が問われています。昭和二十九年に大野市が誕生してから四十八年、私たちを取り巻く地域や暮らしなども大きく変化してきました。このような時代の要請に対応する手段の一つ、市町村合併について考えてみましょう。

市町村合併の背景

●日常生活圏の広域化

交通網や情報通信手段の発達、経済活動の進展など、私たちの日常生活圏は大きく拡大してきました。

このことから市町村の区域を越えた、広い観点のまちづくりが求められています。

●進む少子・高齢社会

少子・高齢化が今後ますます進み、各市町村では高齢福祉サービスなど医療・福祉が大きな課題となることが予想され、財政的な負担やサービスを支える人材の確保などが心配されています。

●多様化する住民ニーズ

価値観の多様化や技術革新の進展などにより、行政サービスへの要求が高度で複雑なものへと変わってきました。

そのための専門的で高度な能力を持つ職員の育成や確保などが必要となっています。

●地方分権への対応

地方分権が進む中、各市町村の地域づくりは自己決定と自己責任のもと、創意工夫し進めることになります。

そのためには行政基盤の強化や、職員のより一層の資質向上などが求められます。

●国・地方の緊迫した財政

現在、国や地方の財政は危機的な状況にあります。

そのため国が地方に十分な財政支援を続けることは極めて困難であると言われ、各市町村では基本的な行政サービスへの影響が心配されます。

このようなことから行財政基盤の強化や、行政運営の効率化が急務になっています。

効果や問題点

合併による効果は、一般に次のことが考えられます。

・専門的職員の増強による行政サービスの向上
・市町村の境界を越えた広域的な道路・公共施設の整備など効果的なまちづくり
・効率的な行財政の運営
・規模の拡大による地域の総合力やイメージの向上

しかし一方で次のことが懸念されています。

・役所が遠くなり不便になるのでは？
・行政サービスの水準や住民負担に差が出るのでは？
・住民の意見が届きにくくなり、きめ細かなサービスが受けられないのでは？
・祭りなど伝統行事や歴史に影響が出て、地域への愛着心が薄れてしまうのでは？
・広域化することで、まちづくりの方向性にずれが生じるのでは？

国の優遇措置や支援策

国では自立した地方自治体を求め、平成十七年三月三十一日までに合併した市町村に対し、次の優遇措置や支援策を講じています。

・合併から十年度の間は、合併前の普通交付税を全額保障し、その後段階的に本来の算定額に戻します。
・まちづくりに必要な事業などに対し、合併後十年度の間は地方債（合併特例債）を財源にできます。
・合併後、市町村建設計画に位置付けられたものを対象に、旧市町村の人口規模に応じた額の補助金が、三年度の間交付されます。

このほかにも国土交通省をはじめ、各省庁で支援プランが決定されています。

市の取り組み状況

平成十二年十二月、県が作成した市町村合併要綱により大野市・勝山市・和泉村の合併パターンが示されました。

しかし地域の将来に関わる市町村合併の問題は、自己責任・自己決定の観点からも、住民自らの手で決めるということが不可欠です。

市では、県が示す合併パターン以外も視野に入れ、効果や問題点について研究していきたいと考えています。庁内に設けた「市町村合併検討委員会」や勝山市・和泉村の関係部課長で構成する「市町村合併共同研究会」で十分に研究し、その情報を皆さんに広く提供する予定です。

また市議会が設置している「市町村合併調査研究特別委員会」とも連携を図ります。

さらに懇話会やシンポジウムの開催など広く皆さんの意見をお聞きする場を通じ、本年十二月までに方向性を決定したいと考えています。

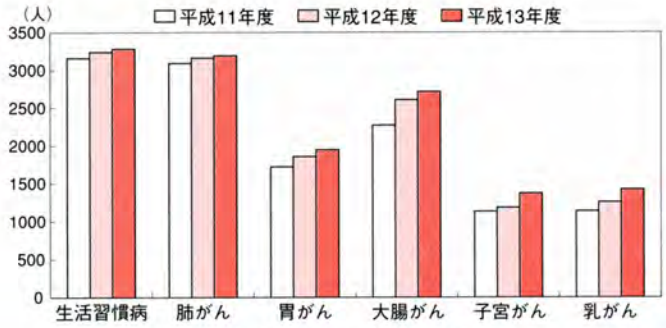
個人や団体などで地域の将来について大いに論議し考えていきましょう。

健康通信

2002.3 No.157

保健センター

がんの早期発見と予防

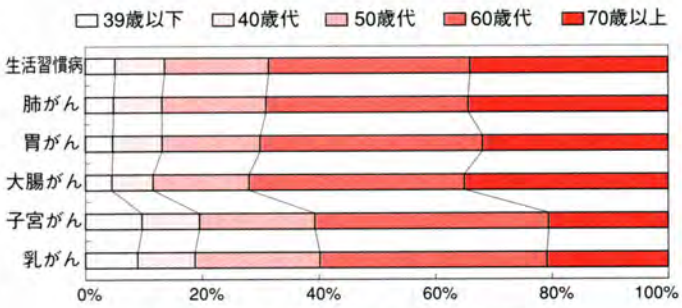


各検診の受診者数推移（図１）

高まる健康への関心

上のグラフ（図1）は、市で行った六種類の検診（生活習慣病・肺がん・胃がん・大腸がん・子宮がん・乳がん）の過去三年間の受診者数を示したものです。

どの検診も受診者が増え、健康への関心が年々高まっていることが分かります。特に平成十三年度の子宮がん・乳がん検診では、受診者数が前年と比べ約百八十人も増えました。平成十四年度の乳がん検診では、五十歳代を対象に従来の診察に加えマンモグラフィー（乳房のX線撮影）を導入する予定です。このことにより、さらに詳しい検診が可能となりました。



平成13年度の年代別検診受診者（図２）

早め早めに検診を

左上の検診受診者を年代別に見たグラフ（図2）では、六十歳以上の受診者が多いことが分かります。

若い人のがんは進みが早いため、症状の出たときには手遅れという場合が多く見られます。六十歳以下の人にもっと積極的に受診して欲しいと考えています。休日検診などの機会をぜひご利用下さい。

また日常生活で積極的に予防することも大切です。次の十二カ条を心がけましょう。

- **バランスのとれた栄養を**
- **毎日、変化のある食生活を**
- **過食を避け、脂肪は控えめ**
- **お酒はほどほどに**
- **たばこは吸わない**
- **緑黄色野菜をたっぷりとる**
- **塩辛い物や熱い物は避ける**
- **焦げた部分は避ける**
- **カビのはえた物には注意を**
- **日光を浴び過ぎない**
- **適度にスポーツを**
- **体を清潔に**

～ちょっと気になる栄養の話～

今回は大豆についてです。

大豆はたんぱく質やビタミンＢ群などを多く含み栄養的に優れていることから「畑の肉」と呼ばれています。その大豆に含まれている栄養素の中で、最近特に注目されているのが、大豆サポニンとレシチンです。

大豆サポニンは、体内で脂質の酸化を抑え代謝をよくする働きがあると言われ、コレステロールや中性脂肪を低下させる働きなどがあります。

レシチンには、血管にこびりついたコレステロールや中性脂肪を洗い流す作用などがあり、高血圧・動脈硬化・痴ほう症などの予防に役立ちます。

また大豆にはオリゴ糖も含まれています。このオリゴ糖はビフィズス菌の栄養となることから、腸内の善玉菌を増やし便秘を解消する効果があります。

調理するときは、しっかりと加熱するようにしましょう。生の状態では消化酵素の働きを阻害する物質が含まれています。またしっかりと加熱することで消化もよくなります。煮豆などにしてたっぷりといただきましょう。

皆さんの健康づくりを後押しします・保健センター（☎65・7333）

暮らしのアドバイス

当市でおきた悪質商法の被害

近年、全国各地の消費者センターに「粗悪品を売りつけられた」「高額な商品の購入契約をさせられた」などの苦情や相談が多く寄せられています。大野市内でも昨年一年間に、約二百六十件の苦情や相談がありました。最近は、これまで被害者といわれていた高齢者や若者に加え、主婦層にも被害が急激に広がっています。

事例一

近所の人たちと立ち話をしていたら、知らない人が来て「ヤッケ（防風用の上着）を百円で売るからついてきてほしい」と声を掛けられ、みんなでついて行った。

百円のヤッケを買って帰ろうとしたら、今度は何か布を出してきて手触り肌触りを確かめさせられ「この生地を使った布団を一枚だけタダであげる」と言われた。タダはおかしいと思い断ったのに、布団を押しつけるように無理やり渡され、一人その場に残された。その後、布団の説明が始まり、無料のはずだった布団の契約書を書かされ頭金を支払った。

次の日、布団が高額だったため、解約しようと業者に電話したところ「一度渡した商品はクリーニングする必要がある。解約してもお金はクリーニング代として使うから返さない」と言われた。

※布団はクーリング・オフ制度の適用対象です。制度を利用することで、頭金や契約金が戻ってきます。違約金などを払う必要もありません。でもこのような場合に一番大切なのは、不審な甘い誘いにはのらないことです。

事例二

五年ほど前、資格を取らないかと電話で勧誘を受けた。六十万円の教材を購入したが、資格は取得しなかった。

先日、まったく知らない業者から電話がかかり「資格を取っていないので五年前の契約が終わってない、資格を取るなら新しい教材を買う必要があるので四十万円支払って欲しい。資格をあきらめ契約をやめるのであれば、三十万円支払って欲しい」と言われた。以前の契約書は捨ててしまったため内容が分からない。どうしたらよいか。

※これは教材関係の商品に多い内容で、三十から四十歳代に被害が多くみられます。四～五年過ぎて契約の内容などを忘れたころに「あの契約は…」と電話がかかってくるもので、手元に契約書や教材などが残っていないため、業者に言われるままお金を支払ってしまうというものです。

しかしこの場合、以前の契約は終了している場合がほとんどです。いらない、払わないという意思をはっきり伝えることが大切です。このような場合もクーリング・オフ制度の適用対象となりますので、契約をやめたいという場合は、クーリング・オフの通知を出す事をお勧めします。

クーリング・オフ制度

消費者が申し込みの撤回や、契約の解除が出来る制度です。頭を冷やして考え直した結果、契約を解除する場合は、契約書など書面を渡された日から八日以内に簡易書留はがきなどで、業者に意思を伝える必要があります。

また、この制度は三千円未満の現金一括払いや、法律の指定外の商品などには適用されません。ご注意下さい。

自営者は特に慎重に

最近、自営業の人からも、相談が多く寄せられるようになってきました。

自営業の場合、契約の多くが商法に関するものとなるため、クーリング・オフ制度が適用できません。

個人経営など自営業の人は、悪質な契約を勧める業者などに十分に注意してください。また契約などは良く考えて慎重に行いましょう。

3月7日㈭に「若者テレフォン」

（若者向け消費者電話相談）

午前9時～午後5時まで、消費者センターで若者を対象とした消費者電話相談を行います。お気軽にどうぞ。

消費生活に関するご相談は消費者相談センターへ☎66・1111 内線464（市役所 生活環境課）

市民のページ

ぐるーぷ登場

大野クラブジュニア

選手とコーチが一丸となって

週三回、エキサイト広場の体育館から子どもたちの元気な声と、卓球のボールが跳ねる軽快な音が聞こえてきます。

大野クラブジュニアは小・中学生を中心とした卓球クラブです。平成十三年に誕生し、まだ一年足らずですが、実力はすでに県内のトップクラス。昨年十一月の県大会では、団体戦で男子が準優勝、女子が三位に入賞したほか、個人戦でも各選手がそれぞれ優秀な成績を収めました。

現在のクラブ員は、小学一年生から中学二年生までの約二十人。毎週火・木・土曜日の午後七時から約二時間、練習を行っています。中には学校の部活動を終えた後、また練習に来るという熱心な子も。そんな子どもたちの熱意に応えようと、大人の卓球チームに所属する選手や父兄などが、コーチとして何人も足を運んでいます。

「クラブでは、まずお互いが気分良くプレーができるよう、マナーやあいさつなどに気を付けることを教えています。技術面では基本的なプレーに加え、一流選手が使うテクニックも積極的に教えるようにしているんですよ」と代表の坪内誠一さん。

子どもたちは休憩時間でも、友だち同士で打ち合ったり、コーチに試合を挑んだりと元気いっぱいです。

「サーブで相手を崩したり、ラリーの途中で変化球を打ってコースをねらったりと、いろんな攻め方のできるところが面白い」「クラブの仲間や対戦相手など、同級生以外の友だちがたくさんできて楽しい」などとみんな楽しそうです。中には「夢はプロの卓球選手になって、世界チャンピオンになること」と目を輝かせる子も。

クラブの目標は、ずばり全国優勝。選手とコーチ、保護者が一丸となって、真剣な眼差しでボールを追いかけていました。クラブに興味がある人は、代表の坪内誠一さん（☎65・1678）まで連絡してください。

今月のスナップ

防火豆まき

ちょっとおしえて

空きびん回収のポイント

Q 三月から、また空きびんの回収が始まりますが、そのときにどのようなことに注意して出したらよいのでしょうか。教えてください。

A 市では、昭和六十二年から「空きびん回収」を行っています。

回収したびんは工場へ送り、そこで細かく砕かれた後、溶解され、びんの原料としてリサイクルされています。

これまでに皆さんの協力で約三千㌧もの量がリサイクルされてきました。

びんを出すときは

・キャップをはずす
・中を軽く水洗いする
・白（透明）・茶・青緑・黒の四種類に色分けする
・各地区の空きびん回収容器に入れる（通常のごみステーションとは異なります）

ガラス食器や電球などは性質が異なるためリサイクルできません。空きびんと混ぜて出さないでください。

混ぜてはいけないもの

・異質ガラス製品
クリスタルガラス製や耐熱ガラス製のもの、蛍光灯、電球、窓ガラスの破片など
・その他
化粧びん、農薬・劇薬などのびん、陶磁器など

これらのものは、燃やせないごみとなります。空きびんとは分けて、指定の日に出してください。

なお、空きびんに付いているラベルは、はがさずにそのまま出すことができます。

空きびんが有効にリサイクルされるよう、これからも皆さんの協力をお願いします。

（清掃管理室長）

問い合わせ先 クリーンセンター（☎65・6120）

こんにちは

サッカーJFLで新人王
長谷川　満
さん（23歳・陽明町出身）

サッカー日本フットボールリーグ（JFL）で活躍する当市出身の選手がいます。それはYKK・FC（富山県黒部市）でプレーしている長谷川満選手です。

チームに入って一年目の昨シーズン、新人最多の十八得点を挙げ、JFL全体の得点ランキングは四位。チームも長谷川選手の活躍などで初めて加入したJFLで総合六位と大健闘。これらの活躍が認められ、見事、昨年度の新人王を受賞しました。

長谷川選手とサッカーの出会いは小学校三年生のとき。漫画の主人公に憧れてスポーツ少年団に入団して以来、サッカー一筋です。高校時代はチームの主将を務めたほか、県選抜メンバーとして国民体育大会に出場。大学時代は関東大学リーグ二部の得点王に輝いたり、全日本学生選抜チームのメンバーに選ばれたりと活躍を続けてきました。

昨年の春に就職してからは、仕事とサッカーの両立で忙しい毎日。特にシーズン中は試合で全国を飛び回り、休む暇が無いくらいハードスケジュールだったそうです。

「就職したことで学生時代と環境が変わり、新鮮な気持ちでサッカーに取り組むことが出来ました。JFLではどの対戦相手も強豪ばかりなので、一試合一試合を大切に、全力でプレーすることを心がけました。一年目で十八得点は出来すぎだと思います。チームのみんながいいボールを出してくれたおかげですよ。今年はシュートの正確さをさらに高め、決定的な場面で確実に決められる選手になりたいですね」と今シーズンに向けて、意気込みを話してくれました。

よんでみねの図書館の本

『きいてアロエリーナ　きいてマルゲリータ』

文・太田麻衣子　画・三好朋子　小学館

「きいてアロエリーナ、ちょっと言いにくいんだけど、きいてアロエリーナ…、きいてくれてありがとアロエリーナ」

こんな歌をどこかで聞いたことはありませんか。テレビコマーシャルに使われて人気の出たこの歌。昨年はCDが発売され、今度はこの歌を題材にした本が出版されました。

この本にはアロエリーナとマルゲリータという二人の日常生活が書かれています。ダイエットや恋、将来のことなど…

そんな二人の生活は、皆さんにとって、ちっぽけでなんでもないことに映ると思います。でも、読み進むうちに、お金では買うことのできない“なんでもないこと”の大切さに気付かせてくれる。そんな本です。

■「広報おの」では、皆さんの活動や意見などさまざまな内容を募集しています。あなたも紙面に参加しませんか。
連絡先　〒912－8666　大野市天神町1－1市役所秘書広報課広報広聴係（☎66・1111内線440）
Eメール　yamabiko@city.ono.fukui.jp

交通安全チェックポイント

改正道路交通法　②

障害のある人にやさしく

今回の改正道路交通法には、体に障害のある人の交通安全に関する内容が盛り込まれています。

障害のある人が道路を渡ろうとしている場合などに、近くにいる人が通行車両に誘導や合図を行い、安全に横断できるよう努めること、さらに車を運転している人が、その通行や横断を妨げてはならないことが盛り込まれました。

また、障害のある人が運転する車に、そのことを示すマーク（標識）を取り付けることや、マークを付けた車への幅寄せや割り込みなどを禁止することも盛り込まれています。マークのデザインは、現在検討中です。

免許取得要件も改正

これまで運転免許証を取得できなかった障害のある人も、運転免許試験に合格することで免許が取得できるようになります。

講座「心をかよわすレッスン」

男女共同参画社会の実現に向けた講座「心をかよわすレッスン」が、1月25日から5回シリーズで始まりました。第1回目のこの日は約40人の受講生が、講師の話に真剣な表情で耳を傾けていました。講座では3月下旬を目標に、身近なところから実践できる「マイプラン」を作成する予定です。

ありがとうクレイグ先生

国際理解教育推進員として3年間大野に勤務したクレイグ・トーマス・ウィン先生のお別れ会が、市内の各学校で行われました。乾側小学校では、児童らが感謝の気持ちを込めて英語のメッセージや歌をプレゼント。お世話になった先生との別れを惜しんでいました。

心もトレーニングを

心理面からスポーツの競技力向上を図るメンタルトレーニング講座が、2月13日から始まりました。これは地域スポーツ活性化事業の一環として行われるもので、当市では始めての取り組み。今後、イメージトレーニングの方法や集中力の高め方などを6回に分けて学びます。

最後の生徒12人が戴帽

新教育課程への対応の面などから来年度末で閉校する大野准看護学院で2月14日、最後の戴帽式が行われました。同校は昭和38年に設立され、これまでに約360人が卒業しています。最後の生徒となった12人がナースキャップを授かり、看護の道へ決意を新たにしていました。

話題の広場

話題の広場

ふるさと体験さまざま

1月下旬から2月上旬にかけて、県の「ふるさとの日（2月7日）」にちなんださまざまなイベントが市内各地で行われました。

2月7日　和光園「ふるさと料理」

2月3日　上庄小学校「ふるさとのつどい」

“冬のごっつお”報恩講料理

自分たちのまちを見つめ直すきっかけとして、大野の伝統的な風習を体験しようと平成大野屋本店のミニイベント「満喫！冬のごっつお」が、2月9日に開かれました。約50人の参加者が小人数に分かれ、市内の酒造場を見学。その後、昔から年に一度のごちそうとして伝承されてきた報恩講料理を味わいながら、料理に関する勉強会や「利き酒・利きでっちようかん」などのゲームを楽しみました。

酒　蔵　見　学

報恩講料理の勉強会

料理を味わう参加者

身近な話題をお知らせください。

お知らせ 3月

市営住宅の入居者募集
都市整備課

●西里団地
規格 3K風呂無・トイレ有
募集戸数 1戸
家賃 月額7000円～1万1600円

●中挟団地
規格 3DK風呂・トイレ有
募集戸数 1戸
家賃 月額1万8700円～3万1100円

資格 一定の収入基準以内で住宅に困っている人
申込締切日 3月19日㈫
申し込み・問い合わせ先 都市整備課住宅緑地係（☎66・1111内線353）

期限までに納めて 国民年金保険料
市民課

国民年金に加入の皆さん、保険料は、翌月末までに納めることになっていますが、納め忘れなどはありませんか。もし、納め忘れがあると、将来受け取る年金の額が少なくなるほか、障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられなくなることがあります。きちんと納めて年金を受け取る権利を確保しましょう。

保険料の納め忘れをなくすため、前納制度や口座振替をご利用ください。

問い合わせ先 市民課年金係（☎66・1111内線456）

軽自動車の廃車・変更 必ず3月中に
税務課

軽自動車税は、4月1日現在の所有（使用）者に課税されます。

軽自動車・バイク・小型特殊自動車・農耕車の廃車や名義変更は、3月中に手続きを済ませてください。

◆軽自動車・125ccを超えるバイク
手続きは、それぞれ県軽自動車協会と県二輪車協会で行います。詳しくは車両を買った販売店にお尋ねください。

◆125cc以下のバイク・小型特殊自動車・農耕車
手続きは、市役所税務課収税係で行っています。廃車にはナンバープレートと印鑑が必要です。名義変更には譲渡証明書（用紙は市役所税務課収税係にあります）と自賠責保険証明書、印鑑が必要になります。

所有（使用）者が市内に転入したり、市外へ転出したりした場合も、市役所税務課へ届け出ください。

問い合わせ先 税務課収税係（☎66・1111内線422）

男女スカウト隊員募集
大野1団

ボーイスカウト大野1団では、新しく隊員を募集する説明会を開催します。

日時 3月15日㈮午後7時30分～
場所 有終会館
対象 市内に住む保育園、幼稚園の年長組～小学校3年生まで（4月現在）
申し込み・問い合わせ先 大野1団総務 尾崎尚美さん（☎66・4271 午後5時～9時）

教育委員会の嘱託職員を募集

●幼稚園嘱託職員
募集人員 1人（平成14年4月1日採用予定）
業務内容 幼稚園児の教育・指導
受験資格 昭和42年4月2日以降に生まれた人で幼稚園教諭免許取得者または平成14年3月末までに取得見込みの人

●社会教育指導員
募集人員 1人（平成14年4月1日採用予定）
業務内容 社会教育に関する指導助言・一般事務
受験資格 社会教育および生涯教育に意欲・関心のある人

●埋蔵文化財調査員
募集人員 1人（平成14年4月1日採用予定）
業務内容 埋蔵文化財調査・一般事務
受験資格 文化財の保護に知識があり、埋蔵文化財調査の経験がある人

試験日程 3月24日㈰午前9時～市役所 （作文試験・面接試験）
申込受付期間 3月1日㈮～15日㈮（当日消印有効）
申し込み方法 市販の履歴書に必要事項を記入の上、上部余白に「幼稚園嘱託職員受験」「社会教育指導員受験」「埋蔵文化財調査員受験」とそれぞれ朱書きし、直接または郵送で提出
申し込み・問い合わせ先 〒912－8666 大野市天神町1－1 教育委員会 庶務課（☎66・1111内線511）

健康づくり講演会
保健センター

日時　3月8日㊎午後7時～
場所　有終会館
講師　中田光彦さん（社会福祉士・介護福祉士）
演題　「イキイキ介護の裏技」
参加料　無料
申込締切日　3月7日㊍
申し込み・問い合わせ先　保健センター（☎66・7333）

県知的障害者スポーツ大会
福祉課

県内の知的障害福祉施設入所者や在宅知的障害者がスポーツを通して交流を深めるフレンピック大会の出場者を募集します。

日時　6月7日㊎午前10時～
場所　福井運動公園ほか2会場
対象　在宅の知的障害者
参加料　無料
申込締切日　4月5日㊎
申し込み・問い合わせ先　福祉課社会福祉係（☎66・1111内線471）

フラダンス講座
マヒナ会

美容と健康のためにフラダンスを始めてみませんか

日時　毎月第2・第4火曜日　午後1時30分～
場所　大野公民館
受講料　月1000円
申し込み・問い合わせ先　森永節子さん（☎64・1160）

犬の飼い方に責任を
奥越健康福祉センター

県内で飼い犬の放し飼いによる事件が相次いで発生しています。飼い犬が迷惑をかけないよう注意してください。

・放し飼いはやめましょう
・ふんの始末は、責任を持ってきちんと行いましょう
・繁殖制限も考えましょう

ライフアカデミー連携講座「みどりの教室」
県総合グリーンセンター

日時・内容　洋ラン・東洋ラン展示会3月23日㊏午後1時～4時30分　24日㊐午前9時～午後4時▼講習会3月24日㊐午後1時～3時
場所　総合グリーンセンター
問い合わせ先　県総合グリーンセンター花卉園芸課（☎0776・67・0002）

エキサイティングスポーツ情報

日時　5月26日㊐（雨天決行）開会式11時　スタート11時50分
会場　市民グラウンド
種目　【2km】小学親子（1～3年）・小学男女4年の部・小学男女5年以上の部　【3km】中学男女・一般男子40歳以上・一般女子（高校生は除く）　【5km】一般男子39歳以下・一般男子40歳以上・一般女子　【10km・ハーフ】一般男子39歳以下・一般男子40歳代・一般男子50歳以上・一般女子
参加料　親子の部1500円、小中学生1500円、高校生1000円、一般1500円（保険料込）
申込締切日　4月23日㊋
申し込み方法　教育委員会や各公民館、エキサイト広場などに置いてある申込書に必要事項を記入のうえ、郵便局で参加料を振り込み
申し込み・問い合わせ先　第38回越前大野名水マラソン事務局（市教育委員会スポーツ課　☎66・1111内線532）

市民バレーボール大会
バレーボール協会

日時　3月17日㊐午前9時～
場所　エキサイト広場
種目　9人制混合バレーボール（男性3人まで）
参加料　無料
申込締切日　3月9日㊏
申し込み・問い合わせ先　市バレーボール協会事務局　浦田久雄さん（☎66・2671）

テニス指導論講習会
市テニス協会

日時　3月24日㊐午前10時～
場所　エキサイト広場
講師　佐藤政廣さん（日本テニス協会常務理事）
対象　テニスの指導者など
参加料　無料
その他　筆記用具を持参
申込締切日　3月20日㊌
申し込み・問い合わせ先　市テニス協会　黒崎輝彦さん（☎65・6514）

グラウンド使用調整会議

平成14年度の「市民グラウンド」「真名川憩いの島」「ふれあい公園」の使用に関する調整会議を開催します。

日時　3月14日㊍午後7時～
場所　有終会館
内容　使用日程などの連絡調整
参加方法　参加を希望する団体は、平成14年度施設使用予定申込書」を提出
その他　会議には、団体責任者の出席を願います。
申込締切日　3月8日㊎
申し込み・問い合わせ先
公共施設管理公社
（有終会館内☎65・8766）

私の宝

南部一男さん（七十三歳）の宝は、今から約六十年前にもらった九円七十二銭の初任給です。

五円札や五十銭札、十銭貨や一銭貨など、今ではほとんど見ることのできないものばかりで、当時のまま全く手をつけずに、額に入れて大切に保管してきたそうです。一緒に入れてある給料明細票には「昭和18年4月28日」の日付が書かれています。

南部さんが働き出したのは十四歳のとき。兵庫県にあった戦闘機を造る工場で、終戦までの約二年間、空襲から逃げ惑いながら働いていたそうです。

「大野を出発するとき駅のホームで、心細さから涙がこぼれそうになり、上を向いてこらえたことをよく覚えています。数カ月後、両親が心配して兵庫まで会いに来てくれたときは、本当にうれしかったですね。父が終戦前に急死したため、この日の別れ際に一体にでも思い入れがあります。買い物などで十円という言葉を耳にするたび、初任給をもらったときのことを思い出しますね。きっと、あの当時の苦労が、いつも頭のどこかにあるからだと思いますよ。今となってはわずかな金額かもしれませんが、いつまでも大切にしていきたいと思います」と静かに話しました。

(87) 六十年前にもらった初任給

南部一男さん（春日三丁目）

気をつけて元気に働けよ　と頭をなでながら励ましてくれたのが、最後の会話となってしまいました

働き出してしばらくは、慣れない環境と寂しさでつらい毎日が続いたという南部さん。給料を初めてもらったときは、うれしさのあまり思わず拝んでしまったそうです。

「初任給とほぼ同額の十円には、今

市民のうごき

		1月1日現在	前月比
世帯数		11,843世帯	−19世帯
人口		40,395人	−25人
内訳	男	19,341人	−12人
	女	21,054人	−13人

1月中の異動				
転入	45人	出生	35人
転出	66人	死亡	39人

市内の交通事故状況（年頭からの計）

件数内訳		平成14年1月末	平成13年1月末	比較
総件数		71件	60件	+11件
人身事故	件数	17件	11件	+6件
	死者	0人	0人	0人
	傷者	17人	18人	−1人
物損事故		54件	49件	+5件

表紙のことば

市内のさまざまなスポ少から約220人が集まって行われた「第33回スポーツ少年大会」。会場では「人間カーリング」をはじめ「ペットボトルボウリング」や「豆つまみ競争」など、6種類のレクリエーションに挑戦。子どもたちの元気な声が響いていました。

編集後記

幼い日の記憶が、年々薄らいでいく今日このごろ。特集「教育が変わる」の原稿を書きながら、思い出すのは先生に怒られたことばかりでした。あらためて出来の悪い生徒だったことを反省しています。お世話になった先生方、元気でいらっしゃいますか　（養）

風見鶏

冬は「殖ゆ」春は「張る」に由来する言葉だという。冬は凍りついた世界ではなく、新しい命が芽生え増えていく出発点、春は木の芽やつぼみがどんどん増え、命がみなぎり張りさけんばかりに「張る」季節である。これ以上膨らむことが出来なくなった時「裂く（咲く）」となる。三月は各学校で「殖ゆ」から「張る」への希望に満ちた卒業生の笑顔が咲く▼四月から一連の教育改革が本番を迎え、学校週五日制や新学習指導要領の完全実施など、これまでと大きく変わることになる。新しい教育の芽やつぼみが「家庭・学校・地域」の庭で「殖ゆ・張る・裂く」となるか、教育の春は正念場を迎える▼明治三十二（一八九九）年、各府県に一校以上中学校が設置された。明治四十二（一九〇九）年には義務教育就学率の男女平均が九十八％に達し、これが二十世紀の日本の原動力となった。この力を礎に、未来を担う子どもたちが花を咲かすことの出来る新しい扉を開きたい。そのカギは親・大人たちが「子どもは社会を映す鏡」であることを認識し、失われたものを補ってやることではないだろうか▼市政のキーワード「自然と人とが調和し　ともに創り育てる…」こそ、これからの「大野の教育」の最大指標である。少子化がうんぬんされる今、子ども一人ひとりを大切に育てること、生涯学習を見すえた開かれた学校の活用など…季節は「殖ゆ」から「張る」を迎える（安）

発行　福井県大野市・編集　秘書広報課広報広聴係（☎0779・66・1111）